

平成28年12月定例会 代表質問(抜粋・要約)

質問者：自民党県連 政務調査会長

※詳細・全文は新潟県議会ホームページ会議録をご覧下さい。



鳥インフルエンザについて

◎質問／関川村と上越市にて鳥インフルエンザが発生。感染拡大防止のため万全を期してほしいが現時点の状況は。また、風評対策に関し、県から積極的な広報活動を行うべきと思うがその対応と、養鶏業者の事業再開に向け、県による積極的な支援と具体的な今後の対応は。

■答弁／両地区とも発生農場の防疫措置が完了。制限区域解除に必要な清浄性確認検査を12月中旬に実施。埋設場所からの汚染水漏洩防止についても、住民説明会にご要望があり防水対策に万全を期した。また、環境への影響調査のため、発生農場周辺の地下水・河川水の水質調査を防疫措置開始日から実施し結果を公表している。調査結果は今のところ、全調査地点で影響は認められていないが、今後も同一地点の調査を継続し推移を注視する。

風評対策については、未然防止の観点から、すでに新聞・ラジオ等で、鶏肉・鶏卵の安全性など鳥インフルエンザの正しい知識を広く県民の皆様へ広報実施している。引き続き不安払拭に努め、さらなる状況を見極め効果的な広報に努めたい。

養鶏業者の事業再開支援について、発生農場には家畜伝染病予防法に基づき、殺処分の鶏の評価額全額が国から交付。また、移動制限・搬出制限区域内農場には、売上げ減少等の損失について、国と県が負担し全額助成することとなっている。このため先般、農林水産省の細田政務官来県の際にこれらの早期交付を要請した。また先頃、県独自の緊急対策や金融的支援の実施を決め、各地域振興局に設置した経営相談窓口などで、これらの支援制度等を含め経営再開に向けた相談に応じ、早期に再開できるようサポートしていかたい。

原発再稼働問題について

◎質問／知事は、原発再稼働について、泉田前知事路線を継承し、福島第一原発事故の原因の徹底的検証。原発事故が健康と生活に及ぼす影響の徹底的検証。万一原発事故が起きた場合の安全な避難方法の徹底的検証の三つの検証がされない限り、再稼働議論は始めないと述べているが、検証が済めば再稼働の議論には応じるのか。また知事は、柏崎市長、刈羽村長と真摯な議論を望んでいるが、三つの検証がされない限り、議論は始めないと立場から、立地地域の首長との立場をどのように議論をするのか。

■答弁／三つの検証について、県民の命と暮らしを本当に守ることができるかどうか、これを科学的に確認できるまで具体的な検証が必要であり、検証については、結論ありきでは意味がなく、将来的に再稼働の議論は閉ざしていない。

立地地域の首長との議論については、福島原発事故の原因、原発事故が起った場合の住民の健康と生活への影響、万一原発事故が起った場合の安全な避難方法など三つの検証について、真摯に議論したい。

◎質問／これまで県は、住民避難に関し、制度の不備を国へ問題提起するだけで、市町村と具体的な議論を進めなかった経緯があり、

存在し、限界集落問題やこの地域の活性化が重要課題となっているにもかかわらず、これらの地域の主たる生業の林業など含め、一切触れられないのはなぜなのか。

■答弁／本県には中山間地域をはじめ、過疎地域、離島、特別豪雪地帯など条件不利地域が多い。私自身もその地域で生まれ育ち、条件不利地域の厳しい状況について重々認識している。条件不利地域の活性化も「命と暮らしを守られる県政」実現のための重要な課題の一つと考え、地域の基幹産業である農林水産業振興など、県庁全体の総合力を發揮し市町村と連携しながら取り組んでいく。

◎質問／政治家は、夢を語り実現していくものであり、議員と首長を目指す者は目的や手法が違うものと考える。議員を目指した人が、急遽知事をを目指した理由は。また、知事として県民に自身が描く県の将来像を示し夢を与えるものと考えるが、どのような夢を描いているのか。

■答弁／政治の目的は一人一人の幸福を可能な限り増やし、不幸を可能な限り減らすことであり議員も首長も同じと考える。今回の選挙に際し、多くの県民や各方面から期待する声をいただき、これまでの経験を生かし、皆様の声にお応えするため、ふるさと新潟発展のため出馬した。命と暮らしを守られ、一人一人が未来への希望を持ち自らの幸福を実現できる地域社会を実現したい。そのため県民の皆様にとり、暮らしやすく、子育てしやすく、学びやすく、そして働きやすい、総合的に魅力のある県になるための施策に全力で取り組んでいく。

◎質問／安倍総理は内需を下支えできる総合的かつ大胆な経済対策を実施する考えを示し、新たな経済対策を盛り込んだ第2次補正予算が成立。国土強靭化への取組が新たな社会資本整備につながることを期待。しかし、社会資本ストック推計減少やインフラ施設老朽化が進み、維持管理・更新に係る予算確保や社会基盤整備、特に道路整備予算確保が喫緊の課題。また、若者をはじめ雇用の確保や地場産業等への支援拡充・強化が強く求められている。このたびの補正予算に対する知事の所見と本県の対応は。

■答弁／命と暮らしを守られる県政実現には、経済の回復と発展が前提。政府には、地方でも景気回復を実感できる経済環境を早期に整備してほしい。そのような中での今回の国の補正予算は、防災対応強化や地方創生推進など、地域経済活性化に一定の配慮がなされたと受け止めており、県として国の補正予算に最大限対応し県内経済の下支えに努めたい。

◎質問／来年度予算編成に向け、自民党は道路整備や河川改修等の公共投資獲得を目指し、党本部、国交省、財務省に要望し、本県への大幅予算配分を期待している。安全・安心の確保や地域経済活性化、雇用確保の観点から、要望の強い道路・河川等の改修整備事業など公共事業予算の確保を図り、地域実情に応じ配分することが必要。公共事業に係る国の予算を積極的に活用すべきと考えるが。

■答弁／公共事業は、防災・減災対策や老朽化対策による県民の安全・安心の確保、併せて道路などの社会基盤の整備による本県の拠点性向上等に重要な役割を有している。このため、高度経済成長期に集中的に整備した橋梁等の社会基盤施設の更新や補修。道路・河川等の整備改修など、国において地域に必要な公共事業予算を安定的・継続的に確保することが必要であり、様々な機会を捉え国に要望したい。

佐渡金銀山の世界遺産登録について

◎質問／世界遺産登録の目的は、遺産を共通の財産とし、恒久的保護することだが、世界遺産登録を推進する自治体や関係者は、資

産の保全と活用を両立させ、持続可能な観光地づくりも必要と考えている。佐渡金銀山は、我が国誇るべき遺産であり、世界遺産にふさわしいと考えるが、佐渡金銀山の世界遺産登録の意義についての認識は。

■答弁／佐渡金銀山を人類共通の財産とし、恒久的に保護することが最大の目的であると認識しており、登録実現により佐渡金銀山の世界的価値が再認識されることで、ふるさとの愛着と誇りが育まれ、本県の発信力や魅力向上に貢献し交流人口拡大へと期待する。そのためには、資産の保全と活用を両立させることは重要な課題。県として佐渡市や関係機関と連携を図り、近代化遺産の保存整備を進め、佐渡金銀山の価値や佐渡の多様な観光資源の魅力を広く国内外に発信し、併せて受入体制の整備・充実などにも取り組んでいきたい。

◎質問／7月の国文化審議会において、残念ながら佐渡金銀山の世界遺産登録の推薦は見送りとなった。自民党県連役員と佐渡金銀山議員連盟の中野会長は、早期登録を目指し4月に党本部の谷垣幹事長、馳文部科学大臣、宮田文化庁長官を訪ね、世界遺産登録に係る要望を行った。来年度は必ず推薦されるよう、官民一体の取組を強力に進めていかなければならないと考えるが。

■答弁／国の推薦が見送られたことは大変残念。県としても来年度の推薦実現に向け、「佐渡金銀山の価値の説明の仕方」など、国から示された課題に的確に対応したい。世界遺産登録に向けては、微妙な国際関係の影響など懸念もあるが、佐渡金銀山に対する理解と支援の輪を更に広げ、御党県選出国会議員連盟及び新潟県世界遺産登録推進議員連盟をはじめ、関係者の皆様との連携を強化し全力で取り組みたい。

高校生の死亡事故について

◎質問／学校にいじめられていると相談していた県立高校1年の男子生徒が列車にはねられ死亡する事故が発生。学校に相談があつたのにこの結果となり少なからず学校の対応が十分とは言えないと考えるが所見は。また再び痛ましい出来事が起こらないよう今後どのような対応を図っていくのか。

■答弁／将来ある高校生の尊い命が失われたことを重く受け止め、改めてこの場をお借りしてご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆さんに深く哀悼の意を表します。

現状の対応等につきましては、亡くなられた生徒からの相談を受け、学校では一定の対応がなされたが、このような結果を招いたことから、対応が十分であったとは言えない。本事案について、いじめが自殺につながったことを念頭に開催した教育委員会臨時会において、第三者委員会に対し詳細調査を要請。今後は、学校対応の評価も含め事実関係や原因解明等が進むよう調査に協力する。いじめは、どんな些細な行為であっても、受けける生徒にとり心に大きな傷を残し、人間関係が壊れたり、自ら命を絶つことにもつながりかねない行為であり、決して放置することはあってはならない。今回の事案を受け各学校に対し、生徒の抱える悩みの早期把握や適切な対応等について、具体的なポイントを挙げ指示した。関係部局とも協力し生徒が悩みを打ち明けやすい相談体制や、相談した際の情報共有と対応の充実など、いじめや自殺の防止に向けた取組の強化に努めていく。

12月定例会 意見書可決分6本

- ・北朝鮮の暴挙を抑制し国際社会の平和と安定を確保するとともに拉致事件の早期解決を求める意見書
- ・受動喫煙防止対策強化措置に係る意見書
- ・軽油引取税の課税免除措置の継続を求める意見書
- ・農協改革に関する意見書
- ・高病原性鳥インフルエンザ対策に関する意見書
- ・教職員体制の充実を求める意見書